

学術講演会

The Biken Academic Seminar

エピジェネティクスと細胞記憶と疾患

日時：2019年12月20日(金) 15:50~17:00

場所：大阪大学微生物病研究所
融合型生命科学総合研究棟 1F 谷口記念講堂

事前申込
不要



佐々木 裕之 先生

九州大学生体防御医学研究所
主幹教授

同大学・副学長・高等研究院長

日本人類遺伝学会賞(2009)

日本遺伝学会木原賞(2012)

紫綬褒章(2015)

上原賞(2018)

ヒトを含む哺乳類のゲノムのエピジェネティックな調節機構（エピジェネティクス）について研究しています。エピジェネティクスとは聞き慣れないことばかも知れませんが、個体発生の過程で、親から受け継いだ塩基配列を維持しながら、遺伝子発現を変化させる仕組みをいいます。また、いったん分化した細胞が、その細胞に特有な遺伝子発現パターンを維持できるのもエピジェネティックな仕組みによります。エピジェネティクスの実体はクロマチンの修飾であり、特定の細胞の修飾状態をエピゲノムと総称します。遺伝子発現を司るエピジェネティクスは、さまざまな生命現象やヒトの病気解明するための鍵だと言われています。

講演会は、日本語で行われます。The seminar will be conducted in Japanese.